

◆(株)アルビオンの新商品開発

同社白神研究所は昨年7月にオープンしましたが、本年9月18日に、地元産ヨモギの成分を配合した新商品を発売する見通しだと報告を受けています。アルビオン社は、真の高級化粧品を目指して商

長瀬地区では路肩の決壊により水道管が破損し漏水となり、谷地・長瀬・根城岱地区で断水しましたが、17日の夜と18日の朝にそれぞれ給水バック（10人入り2袋）を配布して対応しており、その後復旧しています。なお、災害対策警戒部は19日午後1時に廃止しています。被害状況については、道路関係では町道・林道・作業道、大小合わせて約50箇所、路肩の決壊や法面崩落の被害となっています。河川関係では、町内主要河川はほとんどが一級河川のため県管理となることから、県に連絡し現地調査を要請しています。町管理河川については、滝の沢川・二の又川で数カ所が決壊となっています。農地・農業施設関係では水稲冠水が約31haのほか、真土地区では頭首工の一部決壊、ほかに農地への土砂流入、用・排水路での土砂埋没、水路法面崩落など約50箇所

で被害を受けています。被害額は町関係だけで、建設・農業関係を中心に1億3,600万円程となっており、中でも大沢地区では甚大な被害となっています。今後の復旧対策としては、補助災害復旧事業に該当する部分については、採択に向けた事務手続きを進めたいと考えていますし、そのほかの災害については、迅速に対応していきたいと考えています。

一般会計補正予算

3億58万1千円を増額し、予算総額を33億6,471万6千円としました。

◆歳出◆

当初算定による普通地方交付税と、これに関係する臨時財政対策債及び前年度

- 教育委員会委員
 - ・浅利美津子さん（荒町・再任）
- ◎教育委員会委員の選任について

9月30日をもって任期満了となるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により委員の再任について異議なく了承
- ◎藤里町消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ◎藤里町税条例の一部を改正する条例の制定について

主な議案内容

品開発に取り組んでいますが、新商品は植物に特化した研究開発とのことで、研究所オープンから1年程で商品開発から販売にこぎつけており、同社研究部の積極的な事業展開を伺うことができますし、社会貢献活動の一環として、研究施設の見学会や地域行事への参加など積極的な活動を行っていることから、町としてもできる限り協力していきたいと考えています。

繰越金の増額を計上しています。

◆歳出◆

総務費には、平成22年度決算に係る剰余金の処分としての財政調整基金ほか、各種基金へ積立金、町有財産の整備修繕に係る経費、税務申告システムの整備、住民基本台帳法の改正に伴う業務委託費などを計上しています。

民生費では、今後の地域福祉の向上対策に対応するため、地域福祉基金への積立金を計上しています。

農林水産業費は、特産振興に係る経費のほか、造林事業費、林道作業道の補修経費を計上しています。

商工費には、温泉利用施設基金への積立金のほか観光施設の整備費用を計上しています。

土木費では、道路橋梁に係る維持補修経費、交通安全施設の整備費を計上しています。

消防費では、東日本大震災に係る負担金のほか、防災対策として各施設への非常用発電機設置費を計上しています。

教育費には、小中学校施設等の備品整備費用と、学校給食センター建築工事のための基本設計費を計上したほか、スキー場の競技用タイム計測システムの購入費用を計上しました。

災害復旧費では、8月17日の豪雨被害に対応するため、農林業施設及び公共土木施設の応急復旧費の計上となっています。

主な補正内容について

歳入		歳出	
普通地方交付税	177,697	光ファイバ移設工事	3,045
森林環境保全整備事業費補助金	1,177	住民基本台帳法改正対応業務委託料	19,190
主伐売払収入	2,477	健康保養館女子浴室天井張替工事	7,000
財政調整基金繰入金	△20,000	湯の沢温泉線防護柵設置工事	1,910
一般会計前年度繰越金	110,792	屋内消火栓改修工事	6,300
一般コミュニティ助成事業費補助金	1,700	学校給食センター建築工事基本設計業務委託	5,451
林道米代線開設事業	64,100	スキー競技用タイム計測システム購入費	4,353

(単位：千円)